



# ふれあいやまた

やまたに住む人 2200 人。手と手がふれあい、つながれば、笑顔が広がる大きな和。  
社協は『やまた』をそんな町にしていきます。

## 家族で・隣近所で・地域で 日頃から持とう、防災意識 2.28 防災訓練を終えて

山田地区自主防災会連合会会長 こめかみ たけし  
米神 健



「朝8時過ぎ、山田地区で突然大きな地震が発生、あちこちで土砂崩れも起きて、多くの人山田小学校の体育館に避難することとなった。」  
こういう想定で今年の防災訓練が行われました。とこのだれが来ているのか？けがをした人、病気の人の手当てはどうするのか？水や食べ物は大丈夫なのか？居住スペースやトイレはどうするのか？こういった問題に住民自身が向き合い、避難所を運営することができるよう訓練することが目的です。

山田地区は他の学区に比べて人口が少なく、広い体育館に見合うだけの参加者があるだろうか、という心配が頭を離れませんでした。寒い時期であることに加えて、前日の土曜日の午後には雨が降り出しましたからなおさらです。



〈情報広報班〉



〈食糧物資班〉



〈施設管理班〉



〈救援救護班〉



しかし、天は私たちを見離しませんでした。翌朝には雨はすっかり上がり、訓練開始の9時までにはたくさんの皆さんが会場に整然と着席されました。司会の葉山さんの進行でスタートした訓練は、マニュアル通り円滑に進み、300名に及ぶ参加者の皆さんは各班の説明を真剣に聞かれています。



AEDによる心肺蘇生の実技体験

消防署員によるAEDの使用方の説明では、会場内の3か所で説明員を取り囲むように輪ができ、心肺蘇生の実技を体験されていました。

そのあと、グラウンドでは、消防車の乗車体験、初期消火訓練、濃煙体験訓練、アルファ化米の試食などが行われましたが、皆さんはこうした訓練にも積極的に参加され、充実した訓練となりました。

5年前の東日本大震災、1年半前の広島の土砂災害など、災害が身近になっています。行政や消防の対応には限界があります。時間もかかります。家族で、隣近所で、地域で日ごろから防災の意識を持って生活することが基本です。今回の訓練がそうしたきっかけになれば幸いです。



消防車 乗車体験



初期消火訓練



濃煙体験訓練



アルファ化米の試食

(写真提供: 上岡訓三)



おめでとう！！

梅の木会

# 広島市環境美化永年活動 10 年表彰

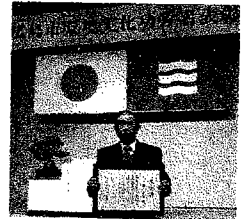


ゴミのない町、それは世界に誇れる町の第一歩です。

広島市松井市長は、『環境美化功労者表彰式』で

こう述べられました。

梅の木新道の清掃を地道に続けてこられた梅の木会の皆さんの努力が認められ、去る1月15日に市役所2階講堂で行われた表彰式では、同会を代表し、大田圭壮さんが賞状をお受けになりました。



春、そして夏から秋にかけて、梅の木新道を彩る花壇は、道行く

人々の目を楽しませ、気持ちを穏やかにしてくれます。

これも、有志諸氏のご尽力をきっかけにした梅の木会の皆さんの善行の賜物。ただ恩恵にあやかるのではなく、住民ひとり



(写真提供：勝田導暁)

ひとりが自分たちの住む町を汚さない高い意識を持ちたいですね。

ご存知ですか？

## 民生委員協力員制度

民生委員・児童委員の見守り活動や地域福祉活動の補助を行うために昨年12月より始まった制度です。

新町2丁目を担当する民生委員の中島恵子さんを助ける協力員に委嘱されたのは『佐々木美智子』さん。制度開始から3か月、実際に活動された感想を伺いました。



中島さん

「佐々木さんに協力員になっていただき心強く、感謝しています。」



佐々木さん

12月には、中島さんと二人で「協力員」としての活動を始めるという挨拶を兼ねて、65歳以上の独り暮らしのお宅を中心に40軒ほど回りました。玄関先で話を聞いてあげるくらいの、できることをやっているだけで、つくづく思うのは『日頃の近所づき合い』の大切さ。隣近所で『いい関係』ができていれば、例えば先日の防災訓練で想定されたような災害に見舞われた時、お隣さんに「一緒に逃げよう」と声をかけてもらえる。近所づき合いがないと、どんどん孤立するようで心配です。

また自分からすすんで『出ていける場』を見つけておくことも必要だと感じています。社協の『サロン』を活用してもらえればいいですね。

[平成 28 年 3 月 3 日 談]

♥♥♥♥♥ 日頃から つくっておこう 顔見知り (上土井 穂華) ♥♥♥♥♥